

第 43 回「鐘ヶ淵地区まちづくり懇談会」 議事概要

日 時 令和 4 年 4 月 20 日（水） 午後 7 時 00 分～午後 8 時 00 分

場 所 区立隅田小学校 体育館

質問 : 踏切安全対策では、踏切待ち歩行者の滞留スペースを確保することのだが、踏切自体の幅は拡幅するのか。

回答（東京都）: 踏切自体は拡幅せず、車道線形を変えるなどして踏切内の歩道空間を拡げる

質問 : 新たに確保された滞留スペースに溜まった歩行者等が、踏切が開くと同時に踏切内になだれ込むこととなり、踏切横断の危険は増すのではないか。開かずの踏切であるため、幅を広げて一度に横断できる人数を増やした方が良い。

回答（東京都）: 今の危ない状態を早期に改善することが重要であり、現状の踏切でできることを、まずは優先したい

質問 : 踏切の拡張にかかる費用は、東京都・東武鉄道のいずれが負担するのか。また、今回の安全対策実施については調整しているのか。

回答（東京都）: 踏切拡張の費用負担についてはわからない。道路整備の進捗に併せて今後東武鉄道と調整していくことになる。今回の踏切安全対策については、東武鉄道と調整している。その結果、踏切の拡幅ではなく、スピード感をもって進めることができる安全対策をまず実施していくこととした。

質問 : 踏切は歩行者・自転車・自動車が集中し、危険な状況であるため、早急に安全対策をしてほしい。

回答（東京都）: 承知した。

質問 : 以前より、補助第 120 号線の整備・鉄道立体化・再開発事業が鐘ヶ淵駅周辺の課題だと聞いているが、区としてどのようなまちづくりを考えているのか。

回答（墨田区）: 鉄道立体化については、都による事業実施を想定しており、現時点ではまだ具体化していない。鉄道立体化の検討進捗に合わせる形で、地区のまちづくりについても地元のみならずと進めていく必要があると考えている。

質問 : 鉄道立体化の検討がスタートできない理由は何なのか。早急に進める必要がある取組であるため、地元には何か原因があるのであれば解消していかなければならない。

回答（墨田区）: 鐘ヶ淵駅周辺は連続立体交差事業の検討対象区間であることから、早期の事業実現に向けて地元と一緒に検討していきたい。

質問 : 鉄道立体化に向けた検討を始め、10年以上の期間が経過している。早く鐘ヶ淵駅周辺の身の丈にあった計画を立案し、実行してほしい。

回答(墨田区): まずは鉄道立体化の具体化に向け、検討を進めていく必要がある。

質問 : 地域で一丸となって検討を進める必要があるが、隅田中央町会が参加していないのはなぜか。区から案内はしているのか。

回答(墨田区): 参加については区からも継続して案内させて頂いている。鉄道立体化の実現に向け、引き続き取り組んでいきたい。

以上